

真夏の8時間耐久レースとなりマシンにもドライバーにも一番過酷なレースになります。富士スピードウェイはメインストレート1.7キロと国内最長でエンジンパワーが大きくタイムに左右します。コーナーリングマシンのロードスターには少し厳しいコースになりますが安定して走ることでチャンスを見出す作戦です。



7月3日金曜日 公式練習 今回の1枠目は村上がコースインしマシンの最終チェックですが走り出しから雨が強くなかなかタイムが伸びず。大井、Sumに交代後は雨がますます強くなり車両チェックのみ。2枠目も同様にウエットですが富士のN1チャンピオンの雨宮選手が走りますがセットUPが決まらずタイムが上がらない。3枠目も精力的にセットを変更していきますがウエットは厳しい状況ですので明日の予選に向けて大幅なセット変更して終了。

7月4日土曜日 公式予選日 朝一のウォームアップ走行でもセットを変更して最終的にいい感じ仕上がりに予選に挑みます。そしてお昼からは決勝のグリッドを決める予選タイムアタックです。まずはAドライバーの村上からですが今回は天候が崩れる方向なので全車急いでコースイン。さあ、アタックと思ったら最終コーナーで54号車が目の前でスピン。間一髪かわして仕切り直し。走る度にベストを更新していき最終ラップに2分2秒118でポールのS2000から2秒落ちのクラス13位。Bドライバーの雨宮はウエット路面のなか2分10秒312でクラス15位。合算のタイムで決勝はクラス14位からのスタートになります。



7月5日日曜日 決勝 決勝は雨の予報でしたがAM10時のスタートの時点では雨も弱まりセーフティーカースタート。スタートドライバーは村上が務めます。2周目にグリーンで8時間のレーススタート。ウエット路面で前車の96号車のS2000に蓋をされます。何度抜いてもストレートで抜き返され40分走行後にやっと前に出ます。そこから急激に路面が乾き予定を変更して1時間で大井選手に交代と同時にスリックタイヤへ。序盤ハーフウエットに苦しみタイムが伸びず少しずつ前との差が開く。1時間経過したところで雨宮選手に交代。雨宮選手はハイペースで走り続け2時間走行したところでSum選手に交代。が、隣のピットも同じタイミングでピットインしておりピットの場所を見失い通り過ぎるミスで大きくタイムを失います。ここからSum選手が2時間の走行。今回は初の富士の走行ですが徐々にタイムをアップしていき安定した走りです。スティントを走り切りラスト2時間でもう1度村上にドライバー交代してコースイン。あとはスプリントレースばりに前を追いかけてベストラップを更新しながら1時間で17位から13位まで順位を上げたところで前が1周、後ろは80秒と言う差になりペースを抑えてそのまま8時間のチェッカーを迎えST4クラス23台中13位。



Aドライバー 村上選手 予選、決勝ともに速さを見せられ、マシンの信頼性もUPしたのは本当に自信になりました。決勝中の安定した走りにはロードスターのコーナーリング性能、バランスの良さを発揮出来ました。

Bドライバー 雨宮選手 小雨がばらつく難しいコンディションでしたが我慢、我慢で粘り強く走れました。ピットのミスは申し訳なかったです。

Cドライバー 大井選手 序盤のハーフウエットのところではなかなかペースが上がらず苦戦しました。1年ぶりのスーパー耐久ということでフィーリングが戻るのに時間が掛かりました。

Dドライバー Sum選手 難しいコンディションの中、完走したことは次に繋がります。エンジニア、ドライバー、マシン、とても高いポテンシャルを秘めているチームです。

今後とも更に応援してまいります様よろしくお願いします。

総括 チームオーナー村上

今回はマシントラブルなく最後までしっかり走れたことは次につながると思います。レース展開は天候にも振り回され、ピット作業ミスなど大きなタイムロスが最後まで響いてしまいました。走行自体はロードスターのコーナーリング性能を見て頂き関係者にも本当に良かったとライバル視していただきここから勝負だと思えます。今回のミスを反省してミスを減らし、今回得たエンジンデータを元に後半戦には入賞争いに絡めるように全力で戦いますので応援よろしくお願いします。

